



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月29日

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5612 URL <https://www.nichu.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石毛 俊朗  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 長谷部 圭一 (TEL) 03-3546-7675  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,157	△0.3	66	△77.4	75	△75.0	△128	—
2024年3月期中間期	8,178	△3.9	292	40.4	302	27.0	132	△3.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △145百万円( —%) 2024年3月期中間期 150百万円( 5.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△40.01	—
2024年3月期中間期	41.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	19,795	9,480	46.1	2,842.16
2024年3月期	20,457	9,771	46.1	2,935.52

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 9,131百万円 2024年3月期 9,431百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	5.6	600	△30.3	600	△33.0	280	△41.1	87.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	3,293,074株	2024年3月期	3,293,074株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	80,064株	2024年3月期	80,014株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	3,213,024株	2024年3月期中間期	3,213,076株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間においては、能登半島地震での被害を踏まえた政府主導での上下水道の耐震化計画が進められているものの、現段階では予算化までなされていないため、全国の水道事業体の管路布設向け鑄鉄管発注量は低調に推移しております。加えて、世界的なインフレや円安などの影響による原材料価格およびエネルギー価格や物流費等の諸物価が高位に推移しているため、収益を大きく圧迫する要因となっています。そのため、販売価格への転嫁やコスト削減の積上げなどの企業努力により収益の確保に努めておりますが、当期につきましては、前年同期比減収減益となりました。

当社はカーボンニュートラルへの取り組みとして2022年6月に電気炉建設チームを設置し、国の目指す排出CO<sub>2</sub>の削減目標の実現に向けて検討を進め、電気炉を導入し、キュポラ炉からの転換を図ることを2023年8月7日に決定し、公表いたしました。

当社の主力製品であるダクタイル鉄管は、老朽化に伴う更新需要はあるものの、現在のところ大幅な需要の拡大は見込みにくい環境下にあります。そこで、当社と株式会社クボタ(以下クボタ)は、今後も社会インフラを支える企業として供給責任を果たしていくため、生産設備を再編し、クボタの京葉工場で生産している小口径(呼び径75mm~250mm)のダクタイル鉄管(直管)の完成品及び半完成品をOEM供給する製造合弁会社(当社の子会社として、久喜工場のダクタイル鉄管(直管)の製造部門を分社)の設立に向けて、協議を進めております。

また、当社は、パーパスである「水が途切れない世界を実現する」ための取り組み、すなわち、製造・販売にとどまらず、管路診断、設計から工事施工に至る管路サイクルすべての分野での活動への展開を図っております。具体的には、さや管推進工法での工事負荷を軽減する部品「オセール」の拡販、プリセット接合工具「楽ちゃく」の新サイズへの拡大開発、スマートフォンやタブレットでマンホール蓋のデータ収集・集計、自動編集できるDXソフト「だいさくくん」の販売促進、Fracta社とのパートナーシップによるFracta-AI管路診断技術の普及促進などを行い、将来に向けた活動を引き続き推進しております。

当社はESG経営を進め、継続的に発展していく企業を目指し、環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる企業体質の強化を引き続き推し進めてまいります。

当中間連結会計期間の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、水道事業体の管路布設向け鑄鉄管発注量の減少影響を受ける中、受注量の確保と販売価格の改善に努めたものの、前年同期比では21百万円(前年同期比△0.3%)減少し、81億57百万円となりました。

収益につきましては、売上高が減少したことに加え、原材料価格および電力・ガス・物流費等の諸物価が高位に推移していることや在庫評価差等の影響などにより、営業利益は2億26百万円(前年同期比△77.4%)減少の66百万円となり、経常利益は2億26百万円(前年同期比△75.0%)減少の75百万円となりました。特別損失に電気炉建設のための既設撤去費用等を96百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純損益は、2億60百万円減少し1億28百万円の損失となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、安定利益の確保に向けて、一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績の予想につきましては、2024年7月29日に発表した予想数値からの変更はありません。

様々な動向を見極め、業績予想の修正が妥当と判断されれば速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,419	2,717
受取手形及び売掛金	3,168	3,520
電子記録債権	2,988	2,539
商品及び製品	3,168	2,909
仕掛品	575	634
原材料及び貯蔵品	665	718
その他	130	92
貸倒引当金	△59	△58
流動資産合計	14,058	13,074
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,237	3,237
その他(純額)	2,181	2,469
有形固定資産合計	5,418	5,707
無形固定資産		
投資その他の資産	673	665
固定資産合計	6,399	6,720
資産合計	20,457	19,795
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098	1,199
電子記録債務	2,591	1,898
短期借入金	2,550	2,950
未払法人税等	138	100
賞与引当金	189	189
その他	968	836
流動負債合計	7,537	7,175
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
役員退職慰労引当金	36	44
退職給付に係る負債	271	253
負ののれん	15	12
その他	825	829
固定負債合計	3,148	3,139
負債合計	10,685	10,315

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,855	1,855
資本剰余金	264	264
利益剰余金	6,731	6,461
自己株式	△105	△106
株主資本合計	8,746	8,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	16
退職給付に係る調整累計額	667	638
その他の包括利益累計額合計	685	655
非支配株主持分	339	348
純資産合計	9,771	9,480
負債純資産合計	20,457	19,795

## (2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,178	8,157
売上原価	6,576	6,835
売上総利益	1,602	1,322
販売費及び一般管理費	1,309	1,255
営業利益	292	66
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	1	2
設備賃貸料	2	2
受取賃貸料	4	4
作業くず売却益	4	6
その他	15	13
営業外収益合計	28	29
営業外費用		
支払利息	9	17
支払手数料	0	0
設備賃貸費用	1	1
その他	8	0
営業外費用合計	19	20
経常利益	302	75
特別利益		
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除却損	50	96
特別損失合計	50	96
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	252	△17
法人税、住民税及び事業税	89	82
法人税等調整額	20	16
法人税等合計	110	98
中間純利益又は中間純損失(△)	142	△115
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	132	△128
非支配株主に帰属する中間純利益	10	12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△1
退職給付に係る調整額	△1	△28
その他の包括利益合計	8	△30
中間包括利益	150	△145
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	140	△158
非支配株主に係る中間包括利益	10	12

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。